

学校運営協議会 & 地域学校協働活動だより

(第2回合同会の内容紹介)

南関町教育委員会教育課

令和5年度第2回南関町学校運営協議会全体会及び第2回地域学校協働活動運営委員会合同会議を、11月27日(月)に「南の関うから館」で開催しましたので、その内容をご紹介します。

会長(谷口教育長)あいさつ

小・中学校では、先月から後期に入り、やがて12月を迎えますが、学校運営協議会や地域学校協働活動の関係者の皆様のご協力のおかげで、各学校のいろいろな取組みが進んでいますのでいくつかを紹介します。



- ① 本年度は学校運営協議会に児童生徒が参加し、課題解決等に向けて委員の皆様方と一緒に熟議を工夫されるなど、これまでの取組みを更に充実させる新しい取組み(五者連携)が始まっており、有難く思っています。
- ② 夏休み明けの美化作業では、P数が減ってきているため、町内の防災無線で地域の方に呼びかけたところ、町内全校で地域の方々のお力添えを頂くことができました。
- ③ 町内各小学校5年生の稲作体験学習では、取組みの見直しとともに、新しく『お米コンクール』への出展もなされ、収穫の楽しみも増したことと思うところです。
- ④ 故郷南関を知るために、「総合的な学習の時間」では様々な工夫がなされています。
 - 第三小学校： 6年生の「三小に関わる文化財、三小の歴史や変遷、小原神楽等」の調べ学習の成果を関所祭りでの発表してくれました。
 - 第一小学校： 全校挙げて「北原白秋の生涯の劇化」の取組みが動き出しており、年が明けての学習発表会を楽しみにしています。
 - 南関中学校： 1年 出身校区外を巡るフィールドワーク
2年 職場体験学習
3年 自分たちにできること、ボランティア活動へ
上記の各学年の取組みのほか、「喜ばせ隊」のボランティア活動と併せて取組みが充実しています。

小・中連携で一環したこのような取組み、ふるさと南関を知る取組みが進められており、これもお集りの皆様のお力添えのおかげと感謝しながら更に充実させる必要があります。また、こういった教育活動の展開が、地域と共に在る学校づくり、社会に開かれた教育課程の実現に迫りつつあります。

今日は、これまでの取組みを踏まえ、協議が深まり、更に取組みの充実に繋がることを期待しています。本日もどうぞよろしくお願い致します。

事務局からの説明

南関町の学校運営協議会や
地域学校協働活動
そして本年度第2回目になります
この合同会では

思いつきではなく
今の子どもたちには
① **どんな力が必要なのかを確認し**
② **その力を育むため社会に開かれた
教育課程のありかたを協議して実践
につなげています**

「めざす南関町の子ども像」

- 1 南関町を誇りに思い、ふるさとを愛する子ども
- 2 明るくたくましく、元気にあいさつできる子ども
- 3 思いやりの心を持ち、自分の考えを伝えられる子ども
- 4 夢に向かって、自ら学び挑戦する子ども

*特に、学校では「自分の考えを表現する力」を鍛え、「難関突破力」を育みます。

令和5年度

重点事業:Society5.0に向けた新しい学校教育の創造

デジタルとアナログの融合による協働的な学びと個別最適な学びの追究

南関町教育委員会

確かな学力の育成	豊かな心の育成
①学力向上研究協議会の運営の工夫と授業研究会の活性化 ②学力向上研究推進校の実践研究による授業改善(三小・四小) ③ICT活用の45分(50分)完結授業による確かな学力の向上 ④小学校専科指導の充実と幼児から小中連携した英語教育及びプログラミング学習を含む理科教育の充実 ⑤授業と家庭学習の接続による主体的学習の習慣化 ⑥図書館活用・読書奨励による豊かな学習への拡充	①特別活動の充実を基盤とした顔と顔の見える関係づくりの強化 ②特別の教科・道徳の授業研究と授業公開による指導力向上 ③自尊心・規範意識の高揚を図る道徳授業の深化充実 ④「熊本の心」[つなぐ～熊本の明日へ～]による郷土愛の醸成 ⑤ボランティア体験活動を通じた道徳的実践力の育成 ⑥人権教育の充実による望ましい人間関係の醸成 *いじめ、不登校の未然防止ときめ細かな対応の充実
たくましい心身の育成	特別支援教育の充実
①体力診断結果を基にした体力向上策の重点化 ②大学等とのコンソーシアムによる学校体育等の一層の充実 ③健康教育全体計画に基づく健康生活の習慣化 ④町食育推進計画による学童・思春期における食育の推進 ⑤フッ化物洗口事業の全校実施をはじめ口腔衛生の充実	①教育支援委員会の機能充実と就学指導の適正化 ②共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築 ③障がいのニーズに適した個別支援計画による指導の深化 ④特別支援教育支援員の各校配置等による個別指導の充実 ⑤貧困、虐待等、特別な支援を必要とする子どもへの対応の充実
コミュニティ・スクール(CS)の推進	学ぶ意欲のわく学校づくり
①CSと地域学校協働活動の一体化による学校運営の活性化 ②地域資源を有効活用した社会貢献活動等の特色ある学校づくりのさらなる推進 ③キャリア・パスポート等を活用したキャリア教育の一層の推進	①学校と地域の連携協働による学校環境の整美 ②学習活動の見える化(教室設営の創意工夫) ③教育環境の整備充実(定数改善や教材・図書室の増書、設営) ④快適な学習環境の充実(空調設備の効果的利用)

・本年度の児童生徒の参画の紹介・

一小では、劇 北原白秋物語「二つの故郷」に取り組んでいます。2月の学習発表会で公開されます



琵琶瀬川ホテルの里 保存活動（二小）

「くまもと環境賞」 くまもと環境教育賞奨励賞 歴代の4年生の取組が認められました

6月27日に、県庁にて表彰式が行われました。南関第二小の受賞は、鹿島環境エンジニアリング会社(KEE)が育てているホテルを南関二小の4年生が教室で冬から育て、ホテルの里(久重)に放流する取組を4年間続けてきたことが認められました。この日は、ホテルの生育をされているKEEの社員さんと教頭先生が代表して受賞式に参加し、7月4日には、ホテルの養殖や放流を体験している4年生から6年生へ、賞状のお披露目をしました。今年度の4年生も、これまでにホテルについて調べまとめる学習を行っています。ホテルが生育する自然豊かな南関二小のすばらしさを今後も受け継いでいってくれることでしょう。



環境賞の賞状は、木製でした。さわやかな木の香りがします

4年～6年全員で、賞状をもって記念写真です。これからも、環境を大事にしていきます。

三小3年生とサロン二城山との交流会



学校運営協議会に 児童が参加して 五者連携がスタート！ 四小

9月14日（木）、学校運営協議会を開きました。学校運営協議会委員の3人に、町教育委員会から教育委員さん、地域学校協働活動事務局の3人も加わっていただき、学校、家庭、地域、行政の方が揃いました。ここに、今回は児童代表として6年生が参加し、五者連携が具体的にスタートしました。初めての試みでしたが、好きなもの自己紹介で少し緊張をほぐしてから熟議に入りました。議題は次の2点です。



- 1 「つながる力」を大切にすると、どんな自分・学校・地域になれるだろうか。
- 2 なりたい自分・学校・地域を実現するために、できることを考えよう。

町内の小学校5年生が南関米をアピール (お米コンクール出展や餅をついて校区に配布)



写真は一小の様子

南関中3年生のボランティア活動



「関所まつり」の当日の様子 町内の全ての小中学校全から 補助員としてボランティア参加



喜ばせ隊始動

今年も南関中学校「喜ばせ隊」が始動しています。活動のポイントは『南関町の人たちに喜んでもらうことを一番の目的に自分たちも元気になる』です。また、ボランティア活動ですので、自分がやりたいことをやりたい時、やれる時に無理せず行います。現在、15名が加入してくれています。

昨年度は子ども会球技大会のサポートや独り暮らしの高齢者の方に励ましのお便りを出すなどの活動を行いました。

今年度になり、1回目の活動として5/28(日)に「なんかん子ども会まつり」のボランティアスタッフとして9名が参加してくれました。



喜ばせ隊は随時募集していますので、興味が湧いたら気軽に参加してください。待っています！

各小中学校の協議の記録

第2回合同会 記 録

南関町立南関第一小学校

Action Plan ・ 協議の柱 B の具体的実践事項

<学力向上部>

- ① 学校応援団からの支援がキャリア教育等につながっている。
 - ・ 5年生の稲作体験は、食育の学習に効果的である。
 - ・ 4年生の福祉体験学習では、体験するからこそ福祉の意味が把握できている。
 - ・ 読み聞かせは、朝の短時間に設定してあるので仕方ないことではあるが、感想をもらったり読み手との交流の時間も欲しい。PTAより読み聞かせへの子どもの反応を問われたが、感動している児童もいた。
 - ・ 北原白秋についての演劇を2月の学習発表会に予定し練習にも取り組んでいるが、町内に掲示するためのポスターづくりにも意欲的になっている。

<心づくり部>

- ① 町内行事への参画で児童は大きく成長する。
- ② 南関町文化祭には、児童も自主的に参加していた。
- ③ 行事のお知らせをBANDを用いて発信すれば、もっと参加しやすくなる。
- ④ 子どもたち同士で良い行いを探して投函し合う取り組みである「キラリ」に継続して取り組んでいる。マイナス思考をプラス思考に変えることで仲間づくりを進めることができる。そして子どもだけでなく保護者も先生へ傘を差し出してくれるなどの行動に広がっている。

《人権宣言》	[<ul style="list-style-type: none">・ されて嫌だったことをすいあげ、そのような言動を無くす。・ ~君や~さんと付けて名前を呼ぶ。・ 「困った人は助けます。」と、自ら肯定的に行動していく。
--------	---	--

<体づくり部>

- ① 外遊びや体育館で体を動かすように推奨している。
- ② A-life の In Body 測定で児童の体力等の実態が把握できた。
- ③ 夏休みのプール開放の代わりに、B&Gの無料チケットの配布は有り難かった。
- ④ 子ども会の球技大会「ビーチバレー大会」には、保護者も気軽に参加してほしい。
- ⑤ もしものときの怪我を心配するので、町に柔軟な保険があるよう要望する。
- ⑥ 歯の定期検診も大切である。
- ⑦ 子どもがスポーツに関心を持つようにしたい。そのためにも行政・地域・保護者・子どもが、連携できる仕組みを築き上げたい。

<環境充実部>

- ① P数が減ってきたので資源回収の実施を工夫したい。
- ② 6～9月には、2学年ごとに美化作業を実施したい。
- ③ 学校では、交通安全指導も大切な取り組みである。
- ④ 8時くらいに登校できるように登校班での話し合いをしたい。
- ⑤ 東門への街灯の設置を検討している。
- ⑥ 夕方のパトロールは、保護者の負担にならず手が空いている時間に実施するようにしたがとても好評であった。

第2回合同会 記 録

南関町立南関第二小学校

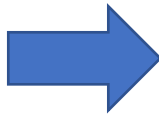
Action Plan ・協議の柱Bの具体的実践事項

<学力向上部>

学校：運動会地域競技の復活

社協：福祉体験の充実

さかき診療所との交流会



6年生、授業の一環

リモートではなく対面で交流

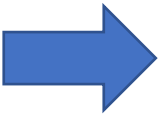
★夢蛸音頭の披露はどうか→学校持ち帰り

<心づくり部>

総合の時間→・4年生、ホタル飼育

・5年生、稲作体験

・6年生、文化財



すべて動画を作成できないか？

QRコードで読み込める。

バンドアプリの活用を考えてみる→PTA、放課後子ども教室で検討する。

地域：夢蛸音頭指導→地域の方々に披露する（学習発表会、全学年）

表現力を大事にする、豊かになる→今後も二小で受け継いでいきたい。

PTA：稲作体験は無事に終了することができた。

行政：関所祭り→子どもたちが活躍できた、かかしの展示もよかった。

<体づくり部>

学校：全学年縦割り班で遊びをしている、ランランタイムの実施（12月より）

PTA：子ども会のビーチボールバレー、ソフトボールへの参加→練習ができて体力がついた。

社協：放課後子ども教室→グラウンドゴルフ（11/29）婦人会等の協力

行政：運動場開放はしばらく時間がかかる→二小は防犯カメラ設置済み

ニュースポーツ大会の実施

・スポーツ選手との出会いがあればよい。

★今やれている活動は今後も続けていきたい。

たくさんの支援で活動できていることに感謝し、発信していく。

<環境充実部>

学校：引き渡し訓練・登下校の見守り

PTA：見守り車のマグネットが劣化で飛んでいく→今後は車内につける等の対策

地域：街灯の設置→役場へ依頼（丸美屋の道2か所）

行政：下校時の呼び掛け 15：30～防災無線

第2回合同会 記 録

南関町立南関第三小学校

Action Plan ・協議の柱Bの具体的実践事項

<学力向上部>

- ①学力向上タイムを9月から月に2回実施している。
- ②はぜのみタイム（10分間を週3回）を実施している。ただ、教員不足のため地域の方の支援をお願いしたい。
- ③芋苗植え・収穫・米づくりを始め、総合的な学習の時間や生活・社会などの時間に、地域の方とのふれあいの機会を多く取り入れたい。
- ④コロナウィルス感染症感染防止対策により、地域行事への取組みができずにいたが、やっと落ち着いてきたので地域行事にも積極的に取り組みたい。
- ⑤学校ボランティアでたくさんの方に支援してもらい、子どもたちは生き生きと活動していた。

<心づくり部>

- ①役場の方に行事についてのインタビューをし、その様子や役場の方からのメッセージを動画に撮り、授業の最後に子どもたちに見せた。
- ②6年生は、役場の方や浦田さんなど、たくさんの方から話を聞き、分かったことを関所まつりや収穫祭で発信した。
- ③1月の収穫祭では、これまでお世話になった方へ感謝の気持ちを伝えることにしている。（今までは親がしすぎていた。今年は、子どもたちが主役で取り組む。）

<体づくり部>

- ①体育委員会で企画し、昼休みにPKや宝探しなどを行っている。
- ②マラソンカードを作成したところ、自主的にランニングをする児童が増えた。
- ③水泳の授業をB&Gで行ったが、A-lifeの方や担任など多くの方からご指導をいただき、子どもたちにとっては有意義な授業となった。ただ、2時間つづきの体育の時間を設定する必要があった。
- ④パラスポーツ体験で、浦田理恵さんとの交流ができた。
- ⑤陸上記録会は令和4年度に陸上教室に変わり、大会は行わないと決まった。
- ⑥三小でサッカー教室をしても良い。
- ⑦6年生が1年生と外で鬼ごっこをするのが多くなった。

<環境充実部>

- ①登下校の見守りを行ってもらっている。
- ②美化作業は、PTAで行っているが出欠を取るようにするほか、児童の祖父母にもお願いしてみる。また、地域の方や相谷以外の方にもお願いしてはどうか。草刈り機の数も足りない。
- ③肥猪町入り口の道路が狭く危険なので、自動車進入の時間制限を設けてはどうか。（肥猪町の区長から道路拡張の申請はしてある。）
- ④やさい畑の前に横断歩道が欲しい。
- ⑤12月に二城山に登れないだろうか。

第2回合同会 記 録

南関町立南関第四小学校

Action Plan ・ 協議の柱Bの具体的実践事項

<学力向上部>

学校：	9月の学校運営協議会には6年生全員も参加し、課題の一つに「あいさつ」の仕方が挙げられた。このことは地区児童会で6年生から下級生にも伝えている。2月の協議会ではその取り組みの様子を発表したい。
PTA：	これまでのノーメディアデーを発展させ、親子ふれあい週間としたい。
地域：	子ども食堂に地域の野菜を提供していただいている。

<心づくり部>

学校：	5年生が稲作体験を行っており、今年はお米コンクールにも出展した。ドンドヤには、6年生も参加させたい。 素月窯からのご指導を得ながら陶芸教室も実施する。 内田川での環境学習も実施している。 5つの誓いについて地区児童会で話す。 ・口は 人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう ・目は 人のよいところを見るために使おう ・耳は 人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう ・手足は 人を助けるために使おう ・心は 人の痛みが分かるために使おう
PTA：	4年ぶりにOBも巻き込んでどんどやを1月に5・6年生を中心に実施したい。資源回収においては、P数の減少から回収等の課題がある。
地域：	米田のなすびづくりに参加させていただいた。
行政：	関所まつりには、30名程の小中学生がボランティアで補助員になってくれた。事前の祭りの準備にも各学校から5～6名の参加があり、子どもたちも地域のために何かしたいと考えている。

<体づくり部>

学校：	1月28日に持久走大会があり、行間に5分間走を実施している。 家庭でも親子ストレッチなどはできないだろうか。 今年の体力テストでは、ボール投げが苦手な子どもが多い。
PTA：	子ども会のウォークラリー大会に参加した児童も多い。親子で触れ合える体験型の内容もあってよいのではないか。 インボディ測定は、初めての取り組みである。
行政：	A-lifeでは、様々な取り組みを実施していただいている。 とっぱ隊では、子ども食堂を実施し朝ごはんを食べさせる取り組みを行っている。 学童でもおにぎりづくりやカレーづくりをお世話になった。

<環境充実部>

学校：	交通安全教室や安心メールの送信・引渡し訓練等を実施している。
PTA：	夕方のパトロールも当番制で実施できている。
地域：	持久走大会で走るところの草刈りは、町に依頼してみる。
行政：	町内各学校の美化作業に102名もの地域の方に参加いただいた。

第2回合同会 記 録

南関町立南関中学校

Action Plan ・協議の柱Bの具体的実践事項

<学力向上部>

- ① 言葉の伝え方などの語彙力が課題なので、読書の時間をつくる。
- ② 勉強のおもしろさがわかっていないので、生徒同士の学び合いなど勉強が楽しいと思えるような学習形態を体験させる。

<心づくり部>

- ① 喜ばせ隊を中心に、子ども会や関所まつり・町文化祭などのお手伝いをすることによって、活動意欲やコミュニティー力が育まれているので、生徒全員に体験させたい。また、町全体で子どもたちを育てているように感じられる。
- ② 町文化祭や町役場庁舎内に作品展示をしたことで、地域の方から褒められたり喜んでいただき、それが活動意欲につながっている。
- ③ いろいろな行事等に参画する中で子どもたちの成長がみられる。
- ④ 文化の日の発表や合唱等を地域の多くの方に見ていただくため、もっと学校を開放してほしい。
- ⑤ 我が子とコミュニケーションをとる場所は、リビングではなく台所だった。

<体づくり部>

- ① P T Aでも自力登校を呼び掛けている。
- ② 食育の後援会が実施できた。
- ③ “料理はゲーム”の感覚で、自分でも調理をしてほしい。塩分は控えめにしましょう。
- ④ P T Aで「味噌汁の日」を設定する。
- ⑤ 生徒に食事への関心を持ってもらうことが、心と体の成長につながる。
- ⑥ 生徒委員会でも昼休みにスポーツを実施するなどの取組みがある。

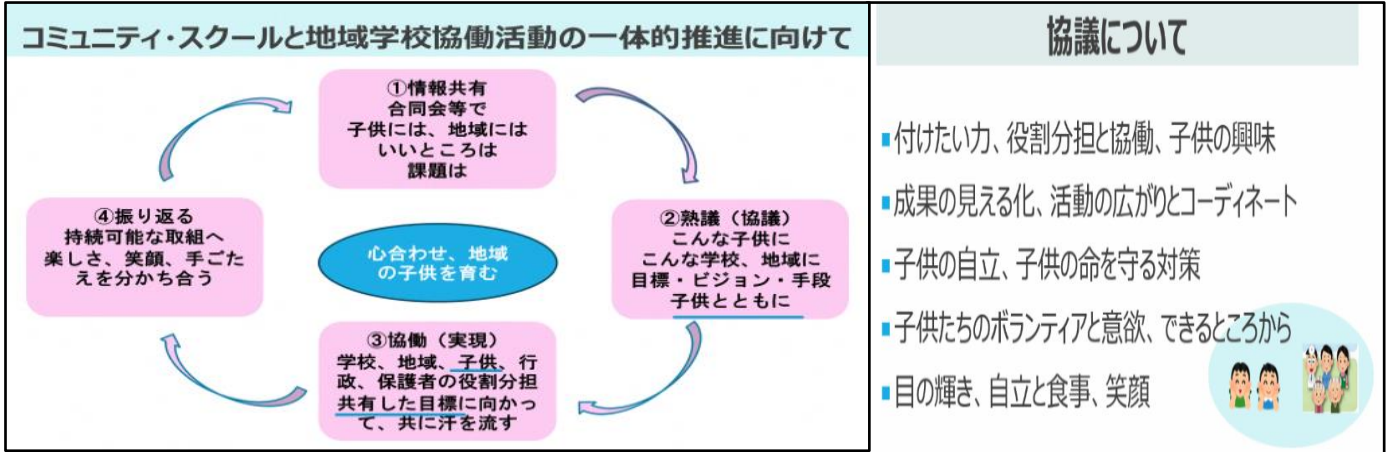
<環境充実部>

- ① 暗いところを下校させることに不安があり、車での迎えとなるため朝も送迎となってしまう。自力登校のためにも暗い所への街灯設置が望まれる。
- ② 美化作業については、広大な敷地であるためP T Aや地域の力だけでは、難しくなってきた。

ま と め

熊本県統括アドバイザー 山平 敏夫 氏

学校運営協議会や地域学校協働活動のたくさんの方々の関係者の方々がこのように一堂に会して協議され、心合わせて地域の子どもを育てておられるのは、大変素晴らしい事であり県内でもあまりない。



○第一小学校について

- ・子どもたちにつけたい力についての共有はとっても大切である。
- ・目的が大切で何のためにこのような活動をしているかをはっきりさせる。
- ・コロナによりPTAだけとか学校だけとか厳しい時代もあったが役割分担することも大切である。

○第二小学校について

- ・環境 美しくなる 見えるところの活動の結果を共有し協働活動の良くなったという成功体験をみんなで共有してほしい。
- ・社会福祉協議会でもコーディネートしてうまくつながり、連携が取れていた。

○第三小学校について

- ・自分のことは自分ですということは基本である。
- ・子どもの命を守るのということは上位目標であり大切なことである。

○第四小学校について

- ・子どもたちのボランティアは自主的にできているのか。
- ・人が喜ぶことを喜びとするのは人間の本能に近く、とても素敵なことである。

○南関中学校について

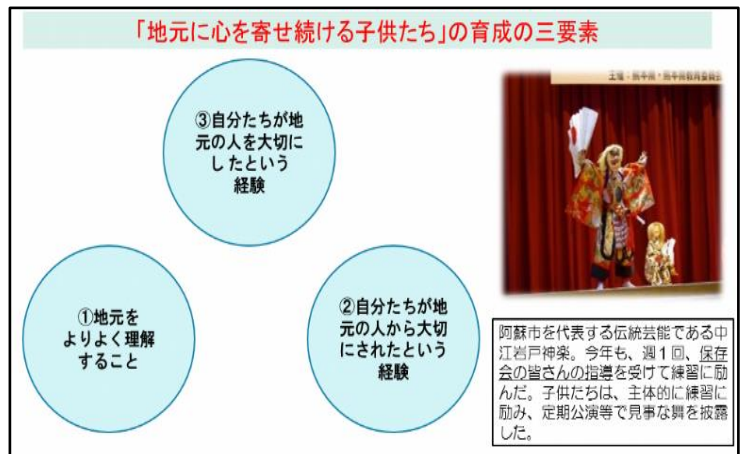
- ・自立 自分のことは自分です。
- ・子育ての基本 笑顔 地域学校協働活動は笑顔のための活動である。
- ・ホームページも確認してきたがどれもすごい取組みがあった。
- ・中学校での地域学校協働活動がどうなっているかはキーワードあり、非常に大事なことであるが、南関中学校はとてもよい活動を行っている。

みなさんの協議を聞きながら次の3点を考えていた。

- ① 南関町では地元に関心をもてる子どもたちが育っている。
- ② 大人になったときに地元のことを忘れずに戻ってくるだろう。
- ③ 地元の人を大切にするという体験も南関町ではできている。

この三つが育っている。

今後とも自信をもって心を合わせて南関町の子どもたちを育ててほしい。



美化作業へのご支援ありがとうございました

本年度も各小中学校で 1～3 回の美化作業があり、防災無線でこの美化作業へのご支援を地域の方に呼びかけましたところ、一小 16 名、二小 28 名、三小 19 名、四小 18 名、南関中 21 名、計 102 名もの方のご支援をいただきました。ありがとうございました。

PTA 親子美化作業 お世話になりました

9月3日(日)は、朝6時半～8時半に保護者、4年以上の児童、そして地域の方々に協力いただき、学校敷地内の除草作業を行うことができました。夏休の間に伸び放題だった運動場周辺や、校門付近の植え込み、中庭などきれいに刈っていただきました。ボランティアとして町議員さんや民生委員さん、学校運営協議会委員さんや一般の方など16名も来ていただきました。さっそく、翌日の朝から、子どもたちはきれいになった運動場や遊具で楽しそうに遊んでくれていました。本当にたくさんの方々の温かいお気持ちで学校が成り立っていることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。



小中学校へのご支援ありがとうございます



ナスの収穫

いちご狩り

カライモほり



環境学習

書道教室

読み聞かせ

わらぞうりづくり

